

EDIUS を用いたネットワーク管理室紹介動画の制作

藤田 昇吾（生理学研究所 技術課）

FUJITA Shogo : The production of an introduction video for Section of Network Management using EDIUS

Currently, an introductory video for the Technical Division is available on YouTube, but it is the 2020 version and needs to be updated for content. As a practice for updating the video, we decided to first produce a video introducing Section of Network Management. In this paper, I will describe the techniques I learned and my impressions of the EDIUS software used for editing.

1. 目的

現在、動画共有サイト「YouTube」には技術課の紹介動画が公開されている。しかし、その動画は2020年度版となっており、職員構成や業務内容の更新が必要な状況にある。記録委員会では動画更新のため、撮影や動画編集の技術習得を目的に練習を行っており、その一環としてネットワーク管理室の紹介動画を制作することになった。本稿では、ネットワーク管理室紹介動画の編集に用いたソフト「EDIUS」について、習得した技術と、実際に使用して得た所感を述べる。

2. 方法

EDIUS の解説がされている Web ページや YouTube の動画を通して、基本的な操作方法を学んだ。また、ネットワーク管理室紹介動画の他に、エフェクトや字幕の練習のための動画を複数制作した。これらの動画制作は、画像や文字、動画などの素材を動かすことに主眼を置いており、特にレイアウトやマスクといった機能を多用して練習を行った。その他、応用として時間エフェクト、クイックタイター、カラーバランス、ガウシアンブラーなどの様々な EDIUS の機能についても情報収集し、制作に取り入れた。

3. 結果

EDIUS の基本的な操作方法や編集技術はある程度習得できた。また、それを用いてネットワーク管理室紹介動画を完成させることができた。以降は使用してみた編集機能の解説と紹介動画の振り返りをしていく。

(1)レイアウト

レイアウトは素材を取り込んだ時点からついてくる基本設定のようなもので、図1のように、大きさ、位置、角度、トリミングなどの加工ができる。

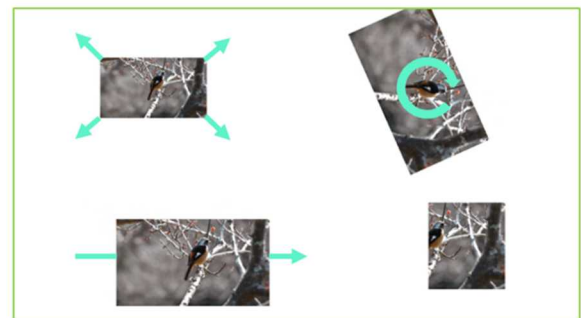


図1. レイアウトでできること

素材の移動速度を変化させる方法として、フレームごとに素材の位置を指定して速度変化を表現する方法がインターネット上でよく紹介されているが、この方法では非常に手間と時間がかかっていた。そこで、レイアウトを応用することで、速度変化の設定の時間短縮を試みた。図2は素材の移動に関する設定画面で、横軸は時間、縦軸は移動距離であり、曲線上のある点はその時間の素材の位置を示す。初期設定では図2中の始点と終点は直線で結ばれており、素材は等速で移動するが、曲線に変えることで滑らかな速度変化を与えることができる。また、設定も比較的容易であるため、大幅な時間短縮となった。速度変化は視覚的にわかりやすい表現であり、短時間で設定可能になったため、紹介動画にも多用した。

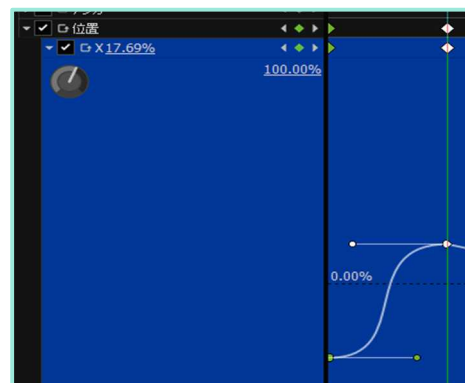


図2. レイアウトの設定画面の一部

(2)マスク

素材を選択した範囲で隠したり、または範囲外を隠したりする機能で、素材の透過率の変更やモザイク処理、マスクの移動もできる。手動で細かく範囲を設定していけば、図3のように写真から鳥のみを切り出すなど、複雑な切り取りも可能である。

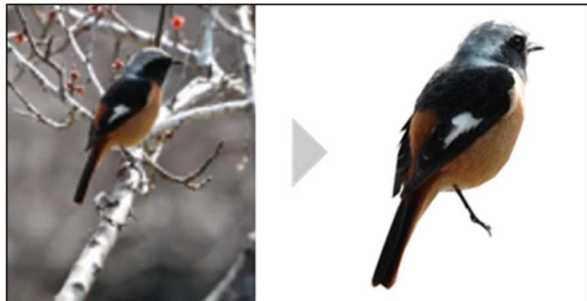


図3. マスクを用いて切り抜いた鳥

マスクの応用として、手書き文字を作成した。画面上で文字が書かれているように見せる表現を手書き文字と言い、今回はマスクの範囲を経時変化させることでそれを表現した。図4は手書き文字作成中のマスクの設定画面の一部で、マスクの範囲が変化していくことで、何も映っていないところから徐々に文字が現れる様子が見て取れる。マスクの頂点をそれぞれ制御する必要があるため、頂点が多いと難易度も高くなる。

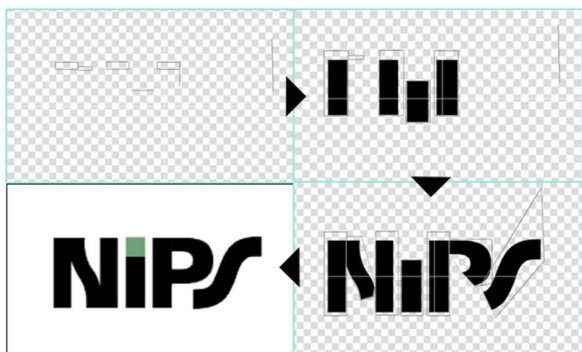


図4. 手書き文字

(3)ガウシアンブラー

対象をぼやけさせ、ピントがずれたような効果を与える機能である。動画に奥行きを与えたいと思い試行したが、素材ごとにサイズ、ブラー強度、動きの大きさを調整する必要があり、仕上がりの割に作業量が非常に多かったため、紹介動画には不採用とした。

(4)ネットワーク管理室紹介動画振り返り

紹介動画は、企業や大学のプロモーション動画を参考に、次々と切り替わる映像の上にエフェクトを付けた文字が流れていくスタイルで作成した。図5は紹介動画のワンシーンで、白画面中央から写真が画面中心

を軸に半回転して展開したのち、写真の裏からスライドしてくる形で文字が表示される映像となっている。動画時間1分43秒に対し、制作期間は練習期間も含めると約2カ月であり、最初に得られた感想は、動画制作は大変だということであった。



図5. ネットワーク管理室紹介動画のワンシーン

内容については、目標にしていた「素材を動かす」については達成できたと思うが、執拗に動かすすぎたため、見づらいところがあった。特に今回のような文字情報がある場合は注意する必要がある。また、レイアウト、マスクを中心に様々な機能を試すことができたものの、実装に手間と時間がかかる機能もあり、今回以上に長い動画では取捨選択が求められる。

4. 考察

(1)EDIUS について

EDIUS の使用感については、非常に細かいところまでユーザーが設定でき、自由度の高い編集が可能という印象である。一方、昨今の初心者向け編集ソフトの特徴といわれる豊富なエフェクトテンプレートは搭載されておらず、テロップ一つを作るにしても数あるパラメータを全てユーザーが設定する必要があり、非常に時間がかかる。

(2)課題

今回の動画制作の課題の一つは、音声編集ができなかったことである。練習動画にて効果音やBGMの追加を検討したが、映像効果と組み合わせることが難しく断念した。しかし、動画のクオリティー向上のためには必須であるため、今後は音声編集を含めた練習も行いたい。もう一つの課題が動画制作の進め方で、最初のシーンから順に思いつくだま制作したことにより、制作時間の長大化とプロジェクトファイルの複雑化を招いた。絵コンテ等、動画の設計図を作ってから取り掛かる方法が一般的であり、編集技術だけでなく、こうした動画制作全体に関わる知識も必要であった。